

東海大学理学部

数学科同窓会会報

第七号

【巻頭言】

東海大学理学部数学科基礎数学専攻

さかもと たかし
阪本 尚志

今年も夏は暑かった！そして今、ようやく秋の気配が西からやって来た。1947（昭和 22）年生まれで“還暦”もとっくの昔に過ぎてしまったような気がする。人生で言うなれば、峠を越えて己の生きざまを振り返りながら、日々安穏と暮らしている今である。がむしゃらに後先考えず働いたような気がするのは私だけの郷愁であろうか。

先日、暑い盛りの8月の初旬、暑気払いのつもりで立寄った伊勢原市（神奈川県）の駅前の後輩のHさんと歓談したときのことである。話はそれなりに盛り上がり、別れ際に今回掲載のこの原稿を依頼されてしまった。物書きを不得手とする私にとっては、気の重い執筆となる。何を書いたらいいのだろう。こんな事を書いたら恥ずかしい。あれこれ考えるうちに時間だけが過ぎ去ってしまったようである。そして、意を決したのは10月に入ってからとなってしまうのである。

さて、前置きはこれ位にし、現状を報告しよう。

私は現在、千葉県市原市内の東海大学の付属高校（付属望洋高校）に勤務しています。現任校が5年目の学校です。前任は学校法人東海大学のある部局（初等中等教育に携わる）で4年間勤務し、今に至った次第です。東海大学を卒業し、付属の学校である静岡を振り出しに、千葉県、神奈川県、東京都そして千葉に再任の形で転勤族の如く移動を繰り返して、現在に至っています。仕事として最終の学校勤務となるはずでした。5年前の赴任時、生徒募集がうまくいかず入学生は年々下降気味でありました。時代を反映する少子化も影響したのでしょう。房総半島という風光明媚なスポットは多々あるものの、如何せん人口微減が私学の危機に拍車をかける状況でありました。学校教育・教育改革と口々に叫ばれますが、妙薬不在の現状でありました。職場の雰囲気は面倒見の良い環境を有していましたが、授業料問題（他私学と比して割高）や交通アクセスの不便さ（最寄りの駅より学校まで7km離れている）がダブリ、現状を招いていたのです。そこで、法人と掛け合い、何とか現状打開の方策を提案し、改革初年度（2010年度）にはスクールバスを導入することになり、事前のPR活動で市内の中学校に説明して周りました。格安の交通費で登校できると受験生・保護者に浸透していきました。我々が募集

活動で訴えたのは、登下校時のスクールバス利用無料化でした。また、東海大学の卒業生の多くが千葉県内に勤務しています。その卒業生たちが無言のバックアップを果たし



てくれたことに感謝しなければなりません。東海大学の付属校の1校として、地の利を生かした教育がようやく育ち始めただろうと自負できるところまで来ています。市原市内の高校としては、初めて高校野球で甲子園の土を踏みました。追い風となったのは事実です。吹奏楽部の活躍も浸透し始めました。科学部は千葉大学が主催する高校理科学研究発表会のポスターセッションに応募し、入賞者を2年連続出しています。我が校の卒業生は大半が東海大学へ進学します。80%以上という驚異的な数字であります。最近では、司法試験合格者や医師・パイロット養成コースに進学する生徒も出てきています。職場の教職員仲間が惜しみない手助けを献身的に支えてくれています。

現状は全て吐露できませんが、毎日が新発見の職場に育っている自負が生じ始めています。環境に適合した仲間が大事だなあと感じさせてくれます。そんな私も今年度で定年となってしまいます。定年なんて誰のことだろうと、つい最近まで他人事のように考えていましたが……。

数学科同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。

【人との出会い】

瀬川良彦

私は、1964年（昭和39年）4月に工学部応用理学科応用数学専攻に入学しました。この年は、理学部数学科基礎数学専攻も開設されて、基数・応数と言って4年間一緒に講義を受けていました。

現在は、定年退職後約4年67歳になり、WHOのいう前期高齢者、そして、年金生活者の仲間入りをしています。ここまで元気に過ごしてこられたのは、節目節目での「人との出会い」、「人と人との繋がり」と「タイミング」が、上手くかみ合って仕事を続けることが出来たからと思っています。

初めは、鈴木正斌先生との出会いです。数学系の科目は、なかなか理解できず勉強も進みませんでしたが、専門課程になって鈴木先生のゼミを選択し、機械語、アセンブリ言語、Fortran等の処理言語の指導を受ける様になりプログラミングが面白くなり、電子計算機に興味を持てるようになりました。

次は、卒業（1968年3月）後は、数学科に残れることになって、鈴木先生の電子計算機関係の演習補助を任されることになり、処理言語の勉強をするようになりました。特に、今後Fortranは教育・研究用に必要な処理言語になると言うことで力を入れていました。ところで数学科での演習補助が2年目に入った頃から、自分の地元に近いとこ

ろで、仕事をしたいと思い、転職を考えるようになっていました。そんな時、丁度間借り宅の身内の方から、愛知学院大学が、Fortran に精通した人を募集しているとの情報があり応募しました。その結果採用が決まり、数学科は2年で退職することになりました。

1970年4月(昭和45年)に愛知学院大学電子計算機センターへ転職し、2008年3月(平成20年)定年退職までの38年間奉職することが出来ました。愛知学院大学では、1970年4月(昭和45年)～1989年3月(平成元年)に汎用電子計算機が導入されて研究・教育に運用されました。処理言語はFortran専用でしたので、ユーザに様々なサポートサービスが出来て大変満足しておりました。

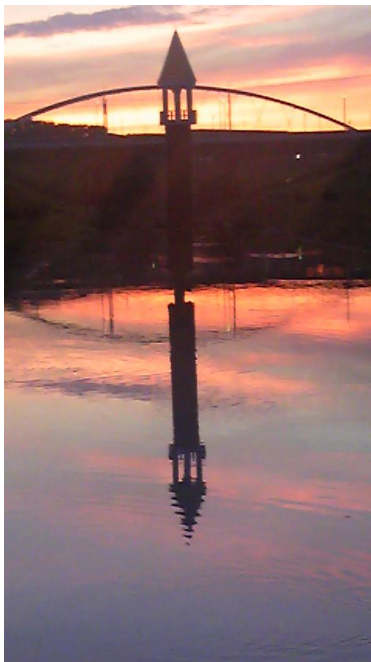
人との出会いに感謝をしています。ありがとうございます。

【朝の散歩道】

1968年度卒 理学部基礎数学専攻 安藤 稔
4時30分に枕の下で携帯電話のアラームが鳴る、起床だ。それから5分で着替えて朝の散歩の始まり。

自宅から住宅街と農地を通過して利根運河に出る。対岸に渡るのは運河に架かっている浮き橋である。ここまで自宅から約1.5キロ、ここから江戸川の土手まで約2.5キロだ。利根運河沿いに遊歩道が土手の下と上に作られている。大雨や台風の後には、土手下の遊歩道は水をかぶってしまう為通行禁止になる。

東京理科大学がすぐそばだ。対岸に渡り遊歩道(「美しい日本の歩きたくなる道500選」のひとつになっている)を歩きだすと運河の土手下だ。川には鴨、白鷺、青鷺、鶺鴒、雉、鶯、カワセミ、



キビタキなどの野鳥を年中見かける。オオタカを見かけることもある。鳥の鳴き声を聞きながら歩いて行くと、お味噌の匂いがしてくる。対岸に窪田味噌の工場が見えてくる。ここらあたりで江戸川から2キロだ。もうすこし歩くと利根運河の土手の上に出る。

流山市北部の工業地帯が土手下に見える。この中で一番大きな工場はファンケル化粧品だ。対岸にはゴルフ練習場がある。明け方早くから準備の為にカクテル照明がついて練習場のネ

ットが浮き上がっている。運河大橋と書かれた橋が見えてきた。昔の松戸野田有料道路で利根運河に架かっている。常磐高速道路の流山ICにつながっている。当時は200円だったが今は無料だ。そろそろ江戸川まで0.7キロの地点だ。

晴れていると富士山が見えてくるし東京スカイツリーも見える。利根運河から江戸川の土手に移り、川下へ1キロほど歩くと対岸には越谷ゴルフクラブが見える。夏は5時過ぎからゴルファーを見かける。

土手は年に3回程度草刈りが行なわれている。花は春の桜に始まり黄色の菊芋、白、黄、赤の彼岸花を見ることが出来る。雉のつがいが土手下にいる。鳴かなければ見逃してしまうのだが、雄が大きな声で「ケーーン」と鳴くし色がきれいなので判ってしまう、雌は鳴かず枯れ草と同じ色なので探しにくい。



土手に海から33.5キロの表示がある。ここで折り返す。家から片道6200～6300歩である。

最初の頃は4000歩程度で終わっていたが、だんだん歩くのが楽しくなって長くなってしまった。往復で12500歩9キロ少してある。これが私の朝の散歩道である。歩けるうちはずっと続けたいと思っている。毎

朝歩いていると大体顔見知りになって挨拶だけは交わすようになる。「おはようございます」、「お疲れ様です」の聲が聞こえる。毎朝「晴歩雨読」である。

枕の下で携帯のアラームがなっている。散歩に行つてこよう。



【同窓会の活動状況】

今年度は3月25日の学位授与式で同窓会賞を2011年度:小竹森俊広さん、杉山直人さんの2名に授与しました。当日は卒業パーティが「フォーラム246」で開催され山田会長と同席させていただきました。幹事さんたちが卒業生個々から集めた写真をビデオレターとしてスクリーンに写し、4年間の仲間た

ちとの交流を通じて大いに盛り上がりました。その後は先生方から卒業生に対する贈る言葉があり、またゼミ生からのコメントもありで、時間のたつのも忘れるような盛大な卒業パーティでした。事前準備も大変だったと思い、良い企画であったと感心しました。最後に幹事さんから挨拶があり、みんなと協力できたことなど熱く語りお開きとなりました。

例年、11月3日の大学の同窓会ホームカミングデーに合わせて数学科同窓会も総会を開催しています。先生方との交流を行い先輩、後輩が集い、話に花を咲かせています。お気軽に参加してください。お待ちしております。会報の送付を行っています。周りで届いていない人がいましたら事務局までご連絡ください。

東海大学理学部数学科では卒業生が主任教授に就任され新しい風が吹き始めています。OB, OGとして学生支援に役立てるよう協力して行こうではありませんか。

同窓会として協力できることは実施していきたいと思っておりますので、お力添えのほどよろしくお願いいたします。

口座番号：10200-25747091

口座名：東海大学数学科同窓会

【同窓会費納入者名簿】敬称略

【2011年度】

青島直希、浅海勝也、穴沢将之、五十嵐美咲、池田和敏、板橋優子、稲田雄平、伊藤達哉、伊藤元治、岩田浩貴、上原有加、大坪威、小川遥香、長田直城、落合範俊、萱野淳平、木村亮太、黒田直希、小坂尚貴、小竹森俊広、小林寿海、才田哲也、齊藤弘樹、酒井哉子、佐々木翼、品川明寛、下田理大、杉山直人、鈴木将功、関秀馬、関根健太、寺脇学、長沢大介、谷村仁美、田澤直樹、野呂卓矢、福岡平、福原佳美、藤原まど、夫津木瑠里、丸田志織、宮川竜一、村上祐一、山中伸将、横倉健太郎、渡辺瑞樹、山崎則夫、瀬川正昭、関朝和、中村聡美、五十嵐克明

【2012年度】

菅原敏彦、山崎則夫

ありがとうございました。

数学科同窓会の会員数は

2012年4月現在：3950名です。



【事務局便り】

数学科同窓会の会報は卒業生や先生方からのメッセージや大学の現況、さらに懐かしい先生からの思い出など、同窓生にとって有意義な情報発信ができればと思っています。800文字+写真など原稿をお届けください。次号に掲載させていただきます。また、興味のある企画などありましたら積極的にお寄せください。

卒業生の寄稿も歓迎です。また、一言メッセージを随時募集しています。また広告の掲載も募集しています。掲載を希望される人は下の連絡先にお問い合わせください。数学科同窓会に関するお問い合わせも、下の連絡先までお寄せください。E-mail でお待ちしています。

連絡先

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学理学部数学科同窓会事務局

事務局長：原田 三行 (70年度卒)

e-mail：zharada@star.tokai-u.jp

同窓会の運営経費は会員皆様の会費によって維持されております。一口2000円(何口でも可)を次の郵便口座まで振り込んでいただきますよう皆様のご協力をお願いいたします。なお、納入者については会報に掲載しご報告とさせていただきます。

【2012年度理学部数学科教員名簿】

湘南校舎	主任	教授	ヤマモト ヨシロウ	山本	義郎
湘南校舎		教授	アカマツ トヨロ	赤松	豊博
熊本校舎		教授	アライ ヒサリ	新井	久徳
湘南校舎		教授	イトウ タツオ	伊藤	達夫
清水校舎		教授	ウラベ マツツグ	占部	正承
札幌校舎		教授	カウ フミオ	加藤	文夫
湘南校舎		教授	タカ ミル	田中	實
札幌校舎		教授	チノ ウンゴウ	陳	蘊剛
湘南校舎		教授	トイ マコト	土井	誠
湘南校舎		教授	ナガセ テルオ	永瀬	輝男
清水校舎		教授	ナカムラ アキヒロ	中村	昭宏
阿蘇校舎		教授	ナラ チエ	奈良	知恵
清水校舎		教授	フジイ フフヘコ	藤井	信彦
沼津校舎		教授	フルヤ ヤスオ	古谷	康雄
清水校舎		教授	ホノ キヨシ	細野	潔
湘南校舎		教授	マエダ ヨシイ	前田	陽一
湘南校舎		教授	ワタナベ ジョウゾウ	渡邊	純三
札幌校舎		准教授	サバウ バシロ リン		
湘南校舎		准教授	シマ アキコ	志摩	亜希子
湘南校舎		准教授	セキガワ ヒロシ	関川	浩
清水校舎		准教授	マツガ カツミ	松田	克己
高輪校舎		講師	キダ ケンシ	貴田	研司
湘南校舎		講師	ササキ アツム	笹木	集夢
湘南校舎		講師	ツキカ トオル	月岡	透
湘南校舎		講師	ツヅ タカエ	都地	崇恵
湘南校舎		講師	ナガイ ヒデアキ	長井	秀友

以上

【お知らせ】

！！ 東海大学ネットに参加しませんか ！！
東海大学同窓会のホームページ

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/index.html>
→「同窓生へのサービス」→「東海大学ネット」で内容を確認することができます。

東海大学同窓会が発行する生涯メールアドレス（メール転送機能）を手に入れ、有効活用いたしましょう。

数学科同窓会のお知らせ、連絡等にメールを利用していきたいと思っておりますので、多くの方々に登録をお願いいたします。

「卒業後、1年以上経過した同窓会員の皆様へ」*注1

ご利用にはログイン名（あなたの ID）およびパスワードが必要です。入手していないか、不明な場合は、東海大学ネット問合せ先まで連絡をお願いいたします。その際には卒年、学部、学科、専攻、課程、氏名、現住所、学生番号（省略可）をお知らせください。

E-Mail : tokai-net@tsc.u-tokai.ac.jp

ログイン名・パスワードを発行し、ご自宅宛に郵送する手配をいたします。

数学科同窓会の Web サイトは下のアドレスです。ご利用ください。お知らせや会報のバックナンバーについても順次掲載する予定です。

<http://www.sm.u-tokai.ac.jp/>

【数学科同窓会役員】

- 会長 山田 正和 (69年度卒)
- 副会長 松尾 久美子 (70年度卒)
- 〃 中村 昭宏 (76年度卒)
- 事務局長 原田 三行 (70年度卒)
- 幹事 千葉 彰悟 (69年度卒)
- 〃 沢野 重春 (70年度卒)
- 〃 坂井 和也 (80年度卒)
- 〃 岡安 英文 (80年度卒)
- 〃 山本 義郎 (91年度卒)
- 代議員 各年代2名
- 会計 泉水 博 (00年度卒)
- 監査 手塚 政夫 (70年度卒)

*注1：東海大学ネットHpより引用しました。



噴水下からの一号館



噴水下から五号館前ロータリー方向のケヤキ並木

【編集後記】

昨年は3.11の東日本大震災、福島原発事故と大きな災害に見舞われました。一日も早い復興を祈念しています。今年に入って、何も解決ができないままで、新たな問題として領有権が取り沙汰されています。そもそもの問題発生は何が原因したのか？一括りでは語れない問題ばかりですが、一歩ずつでも良いので改善に向けて進んでもらいたいものです。個人の問題にかかわることです。我々にもできることが何かあるはずです。よく考えながら行動したいものです。

(み)



【発行】

発行日 2012年11月3日
編集 東海大学理学部数学科同窓会会報編集委員会
発行人 山田 正和
発行所 東海大学理学部数学科同窓会
〒259-1292

神奈川県平塚市北金目4-1-1